

# 【関西玉翠会】

## 2017年度総会懇親会 総括(サマリー) I

S61年卒幹事団

先般、当幹事団にて企画運営をさせて頂きました本会。暫定ではございますが以下の通り総括致します。  
本案を基に次年度幹事団への各種詳細を作成し引継実施、及び第二回年次幹事会にて正式に報告の貌となります。

### ◇◇総括評価

- I テーマ 『輝くあなた、高高に思いを馳せ集まろう！新たな伝統、仲間と集う今日がスタート！』  
先ずは集まること！それで何かが生まれる筈！をベースに『感謝、仲間、伝統承継』を盛り込んでコンセプトを決定。  
即ち、如何にして卒業生を集められるのかが幹事団の最大の命題となり、初の300人越を目指して結果302名。
- II 日程 例年に倣い、10月下旬の土曜日にて確定(特に取り決めは無いが子女運動会や行楽等実は選択肢少ない)。
- III 会場 ①2016年度同様に交通至便を第一義に検討、『ザ・リッツカールトン大阪®』の選定に至る。  
会場は競合(リーガロイヤルホテル®)したが、終会時刻の差が決定打となった経緯。  
(但し、本来は検討対象ですらなかったが、同期生の類稀な人脈で開拓出来たのは僥倖)  
②同時中継システム等を自営構築。精通した担当とホテル側との綿密な協議で廉価に構築出来た。  
③写真は確りと撮影し交付されるべく、初めて外部専門事業者(フオクワイト社)を導入した。
- IV 告知 関西玉翠会公式HOMEPAGEを大幅に改訂させて頂き、内容の更なる充実を企図。  
案内状 SNS(Facebook)もオープンな形の『かんぎよくに来まい！』を立ち上げ、記事をreal更新しつつ広く告知。  
総会案内状は、2大イベント企画内容説明と無料託児施設の案内、写真専門事業者の導入及び留意点、年会費増強要請の環境説明等を盛り込んで、A4版Z折り6頁とした。

- V 総会懇親会 開始時刻を企画段階では12:00乍ら、実行計画では11:30へ前倒し(前泊回避と二次会等時間確保へ配慮)。  
食事前に、総会議事&セレモニーで30分+テーブル集合撮影20分+オープニングイベント40分の計1時間30分。  
終会迄トータル4時間とし、テーマのmessageを込めた企画と共に『今日一日は、かんぎよくの為に』と捉えた  
幹事団の時間軸が概ね好評乍ら、やはり参加者目線では長いとの感想も一部に有った。

- VI 企画イベント ①オープニングイベント『高高キリトを探せ！』は、各層より男4名女5名バランスよく9名を選定、全て取材実施済。  
当日は9名分を計40分で運営し、内3名の登壇にてMC実施。年次会報誌は11Pで誌面構成。  
②ミニイベント『高高あるある川柳大会』は、30分のMC、67首応募(年次会報誌は4Pで掲載し誌面構成)。

- VII 年次会報誌 2大イベント企画とのtie-up記事をメインに、全92頁。  
①寄稿者 玉翠会副会長、高松高校校長、関西玉翠会会長、香川県元知事(S34年卒)、  
百十四銀行会長(S45年卒)、S61年卒同級生2名、にて以上計7名。  
②年次活動 常任幹事会報告1件、クラブ活動報告5件、年次各会報告27件。  
③広告協賛 企業個人42件+年次会12件=54件(実績1,535千円)。パナー広告は2件。  
2016年度実績⇒企業個人28件+年次会12件=40件(実績1,388千円)。

- VIII 土産品 ①うどん(石丸製麺/茶うどん)、和菓子(名物かまど/かまど)、ペーパークラフト&せんべい(加藤汽船)。  
記念品・協賛品 ②洋菓子(名物かまど/パイ)、エコバッグ(幹事団オリジナル)。  
③赤白WINE48本(ナイイ)、日本酒(綾菊)、多種多量の物産展(香川県/大阪事務所)。

IX 収支決算	総会/250名前提		2017年度事業予算		2017年度迄実績(302名参加)及び予実乖離主要因		2016年度実績(254名参加)
	主要項目概算 (11/15迄分)						
総会参加費		2,320千円	2,501千円	288名	単価予算9,280円⇒8,680円(△600円)。		2,029千円
年会費		1,000千円	944千円	490名	年度末迄期待だが啓発不芳。		936千円
協賛広告費		1,500千円	1,535千円	54件	強気の予算目標を僅か過達。		1,388千円
総会費		2,570千円	3,004千円		人数増比例、ドリンク従量制から定額freeへ変更等。		2,177千円
総会イベント		450千円	628千円		キリト企画と取材、託児所、フオク業者・土産記念品。		227千円
案内状会報発送		580千円	18千円		P社より今後に会報誌分等の請求有り(約450千円)。		472千円
年次会報作成		400千円	740千円				293千円
諸経費		750千円	648千円		援団楽団交通300千円、今後諸立替精算未済分有り。		684千円

⇒⇒収入5,150千円、支出5,200千円(迄現在)にて、極めて遺憾乍ら決算赤字での着地は必至と思料。

- X 当日運営 ①受付開始前 袋詰め作業が想定外に多かった。当日リハーサルに時間が確保出来ず現場対応に頼った。  
②受付 飛び入り参加者5名、一方で参加表明済且つ不参加者4名が発生。  
③総会開始 セレモニー及び議事で、来賓誘導等に不首尾、会場内人員配置に課題があった。  
④懇親会 写真撮影NG者の取り扱い(目的通りではない会員有り)。  
⇒⇒『当日』の受付マニュアル確認と入念なりハーサルは繰り返し実施が必須。

⇒⇒別添、アンケート内容及び結果を参照。

【関西玉翠会】

2017年度総会懇親会 総括(サマリー) II

S61年卒幹事団

◇◇事象面分析

	評価出来る点、目論見通りだったモノ。	反省すべき点、課題となったモノ。
想定内	参加数は当日迄は凸凹有りだが302名の参加者を得た。 ⇒告知の工夫、若手層への積極的アプローチが奏功。 ⇒託児施設利用は10名見込乍ら、3名(預けは4名)。 ⇒若手会員参画は、S61年卒含む以降計80名。 受付での当日飛び入り参加者への対応。 ⇒各テーブルの余裕有る配席とホテル側の臨機応変。 会場運営でインカムランナーの活用で即連絡に貢献。 ⇒見積もり複数で廉価の結果。運用はコストパフォーマンス。 会場内スナップ写真質量UPと運営員数の余力捻出。 ⇒フットウェア社導入にて整齐と運営出来た。	資金の流れを一気通貫でリアル管理する担当が必要。 ⇒授受状況と礼状・口頭御礼等の連携が不十分だった。 ⇒予算費消の確認が不十分でブレーキ牽制が果たせず。 総会案内状で問合せ先mailaddressを誤記した。 ⇒速やかにHP上でお詫びと訂正をした。 当日7:00集合で作業乍ら袋詰物の膨大さに大苦勞した。 ⇒予めの物量を充分に確認しなかったが何とか間に合った。 会場での座席が相互に共有確認出来る措置が無かった。 ⇒参加者から会場スタッフへ問い合わせが多かった。 懇親会時間内でオリジナルエコバック販売開始が大きく遅延した。 ⇒当日タイムテーブルの確認を遺漏した。
想定外	ガ・リッツカールトン大阪のstaffの相談対応と当日の好姿勢。 WINE協賛のナカイより48本もの無償提供。 協賛の加藤汽船より煎餅及びペーパークラフトの無償提供。	案内状やHP等に問合せ先の掲載が一切無かった。 ⇒会報誌責任者が唯一の記載有りて個別対応した。 総会終了直後の後片付けの段取りが無かった。 ⇒終了後に相当に混乱した(要リハーサル)。

◇◇幹事団の活動(関西玉翠会公式会も含む)

日時	開催会合	概要
2016.7.23	非公式会合(S61集まるう会！)	2017年度総会運営について意思結集しKICKOFF。
2016.9.03	第一回準備会合	2016年度準備状況、今後スケジュール確認、ガ・リッツカールトン大阪で試食会実施。
2016.10.22	2016年度総会懇親会	S60年卒幹事団が運営。
2016.11.27	第二回準備会合	2016年度総会の分析及び2017年度総会の仮説設定、役割分担確認。
2017.1.22	2016年度第二回年次幹事会	S60年卒幹事団より引継受け実施、2017年度総会案サマリー説明。
2017.2.25	第三回準備会合	総合工程表、会場レイアウト確認、当日タイムテーブル案、オンラインストレージ選定。
2017.3.20	常任幹部宛非公式協議	現状の準備状況に関する説明及び意見交換。
2017.3.25	第四回準備会合	企画案具体的検討、各班本格稼働、プリンティングサービス社同席協働。
2017.4.16	2017年度第一回年次幹事会	2017年度総会案及び事業計画&予算等細目説明。
2017.5.07	第五回準備会合	個別具体策(広告、会報寄稿)進捗報告、HP&FB、高松取材協議。
2017.5.27	玉翠会本部『高松ビアガーデン』	幹事団S61の7名及びS62の2名計9名参加し本会アピール、及び高松の取材。
2017.6.11	第六回準備会合	役割分担再編成、案内状、年次会報誌状況確認、東京玉翠会との連携。
2017.7.08	第35回東京玉翠会総会	幹事団S61の2名参加し、在京同級生の本会参加をアピール。
2017.7.16	第七回準備会合	キレット企画の状況と取材段取り、総会案内状確定、会報誌進捗確認。
2017.7.29	2017年度第一回常任幹事会	総会に関し年次幹事会での指摘回答及び実行に向けて一任取り付け。
2017.8.19	第八回準備会合	土産品確定、キレット企画内容深堀り、応援団プラスバト確認。
2017.9.10	第九回準備会合	協賛品、物産展、記念品、キレット企画、川柳大会、当日タイムテーブル確認。
2017.10.01	第十回準備会合	迄済分領収一覧確認、当日タイムテーブル・ソナリオ確認、アンケート作成。
2017.10.15	第十一回(最終)準備会合	当日タイムテーブル、会場運営役割、機器接続確認、議事イベントリハーサル実施。
2017.10.21	2017年度総会懇親会	本番当日。
2017.11.12	第一回かんぎょく로스会合	第一回常任幹事会に向けて反省総括を個人毎整理。
2017.12.03	第二回かんぎょく로스会合	引継会に向けての役割分担及び細目確認、協議実施。
2017.12.03	2017年度第二回常任幹事会	(本会)
2018.1.13	2017年度第二回年次幹事会	(確定) S62年卒幹事団へ引継渡し実施、2017年度総会懇親会総括報告。
2018.4.中下旬	2018年度第一回年次幹事会	(予定) S62年卒幹事団が主催。2018年度総会懇親会概要説明。

◇◇今後の提言

本会を経験させて頂いた上で、永續発展をさせる為に従来より指摘されていることに重なるが、『実務上』敢えて提言するもの。

主体	年毎に重任せず一斉交代する担当幹事団の負担は大。ベース事務局をP社が玉翠会本部の連携等で整理すべき。
財政	総会参加費10千円は心理上限、基礎収入の年会費の位置付け(水準、納入重複、回収方法等)を支部間で平仄整理。
告知	NET経由と紙媒体と併用中。NET一本化は高齢層比重増加で無理乍ら、『ゆうれい』会員とのコスト整理すべき。
データベース	膨大な総会資料及び画像等のdataを引継維持保管する為に、オンラインストレージを長期保有すべき。
協力者	定例且つ最大の盛り上がりとなる、応援団演舞及び吹奏楽団演奏への措置(用備品、経費)をルール化すべき。
幹事団メンバー	担当幹事団のメンバー如何により全体能力の濃淡が発生、常任幹事会のフォローではカバーしきれないケースも十分に有り得る。

ベース業務を担う固定事務局機能の創設⇒①関西単独ならP社との更なる協働。②連携重視なら高松事務局、玉翠会本部及び各地域支部との共通プラットフォーム化でノウハウ共有。③それらの課題を検討主体を如何するか？専従者の確保が焦点。  
尚、本件は実務的な課題であり、いわゆる同窓会活性化の議論とは区分け、焦点が多岐に亘り拡散して結論を得ないと思料。